

《講師紹介》

文／当院住職

おぐり・まこと 真宗大谷派恵琳寺住職。60才。昨春、長年勤務した愛知県庁を定年退職し、住職道に専念すべく“第二の人生”をスタート。それを機に始めた月例の法話会が毎度満堂の大盛況。穏やかな語り口で教義と世俗を行き来させながら『正信偈』を解説。今回は講題のとおり、仏教の基礎を丁寧にお話しいただけることになっています。

たいとう・じゅんせい 当院住職。56才。講題は「なせばなる」にあらず。昨年母が脳出血で倒れ、入院から在宅介護に移行するについて、「おむつ替えとか絶対やらないからね！」と放言した妹が、いざそうなったら文句ひとつ云わずやってくれたことに由来。いかにも他力的で語呂もよく、無意識の受け売りではないかとAIにたずねたら、そうでもなさそう。

いの・ゆうすけ 豊田大谷高校非常勤講師。29才。今回のチラシ作成中、とりあえず空欄を埋めるべくパソコンの横にあった新聞からたまたま目についた一節をあてはめておいたら、後日仮刷りのそれを見た当人が、「このままの講題でお話ししましょうか」——ということで、こうなりました。意図せぬ“むちゃぶり”ながら、いまの世相の問題点を突くお話が聞けそうです。

(登壇順)